

第4期熊本市中心市街地活性化基本計画骨子について（案）

これまでの計画のふりかえり

第1～3期計画（平成19年5月～令和5年3月）

- ・熊本城本丸御殿の復元
- ・桜町、花畑地区、熊本駅周辺地区の大規模な基盤整備 など
- これまで、中心市街地の魅力向上やにぎわいの創出を図ってきた

新型コロナウイルス感染拡大による、イベントの開催制限 など
目標達成へ大きく影響

1. 中心市街地の課題

- ・技術革新など、時代の変化への迅速かつ柔軟な対応
- ・まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上
- ・まちなかの安全性の向上

計画におけるまちづくりの方向性

- ・整備してきた都市基盤を最大限に活用
- ・「点から線」へのステップアップ
- ・車中心から人中心のまちなかへの転換
- ・多世代が居心地よく過ごせるまちづくり

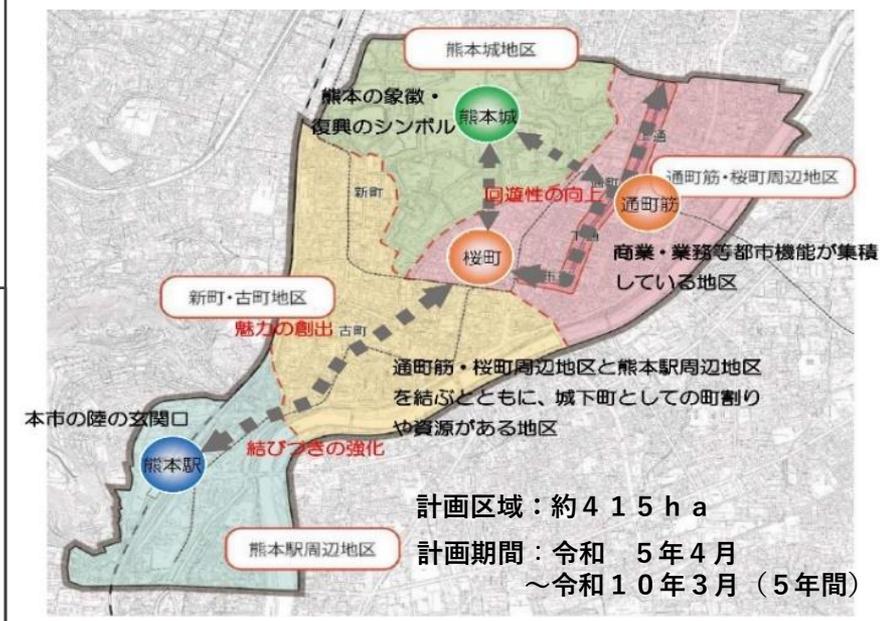
2. 目指すまちの姿、基本方針、目標、指標

目指すまちの姿
『**昼も夜も歩いて楽しめる、いつまでも魅力的なまち**』

⇒ 目指すまちの姿の実現に向け、官民連携して取り組んでいく

基本方針	目標	指標
時代の変化に応えるまち	時代の変化を見据えた魅力あるまちづくり	桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合、熊本駅周辺が魅力的であると感じる市民の割合、中心市街地の満足度、CO2削減量 など
にぎわいあふれる城下まち	にぎわいの創出と回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量、熊本市内の宿泊客数、中心市街地ににぎわいがあると感じる市民の割合 など
安全・安心に住み続けることができるまち	安全で安心できるまちなかへの居住促進	中心市街地内の居住人口、特定建築物の耐震化率、校区防災連絡会の設立割合 など

3. 計画区域と計画期間



4. 今後のスケジュール

- 令和4年
 - 7月 素案の作成
 - 8月 内閣府に素案提出
 - 9月 第3回定例会（素案報告）
 - 10月 パブリックコメント
 - 11月 内閣府に計画案提出
 - 12月 第4回定例会（パブコメ結果、最終計画案報告）
- ～ 内閣府に提出